

第6 4回全日本中学校通信陸上競技宮城県大会要項

- 1 主 旨 各都道府県ごとに陸上競技を行い、その成績を日本陸連に集め、各種目ごとに全国順位をつける通信競技大会とし、陸上競技の正しい普及と発展のために、この大会を通じて、中学生の精神的・身体的な正しい訓練を助成するものである。
- 2 主 催 (公財)日本陸上競技連盟、(公財)日本中学校体育連盟、(一財)宮城陸上競技協会
宮城県中学校体育連盟
- 3 後 援 宮城県教育委員会、NHK、朝日新聞社
- 4 期 日 平成30年6月30日(土)～7月1日(日)
- 5 場 所 ひとめぼれスタジアム宮城
- 6 競技種目
- | 男子(16種目) | 女子(13種目) |
|------------------------------|------------------------------|
| 【男子】 | 【女子】 |
| 1年 100m | 1年 100m |
| 1年 1500m | 1年 1500m (宮城県独自の実施種目) |
| 2年 100m | 2年 100m |
| 3年 100m | 3年 100m |
| 共通 200m | 共通 200m |
| 共通 400m | 共通 800m |
| 共通 800m | 共通 1500m |
| 共通 1500m | 共通 100mH |
| 共通 3000m | 共通 走高跳 |
| 共通 110mH | 共通 走幅跳 |
| 共通 走高跳 | 共通 砲丸投 |
| 共通 棒高跳 | 共通 四種競技(①100mH②走高跳③砲丸投④200m) |
| 共通 走幅跳 | 共通 4×100mR |
| 共通 砲丸投 | |
| 共通 四種競技(①110mH②砲丸投③走高跳④400m) | |
| 共通 4×100mR | |

備考(1) ハードルは次の規格で行う。

男子…110mH 個数10台 高さ0.914m インターバル 13.72-9.14…14.02

女子…100mH 個数10台 高さ0.762m インターバル 13.00-8.00…15.00

(2) 四種競技を実施する場合は、3種目と1種目に分けて2日間で実施する。(男子は1日目に①～③、2日目に④を、女子は1日目に①、2日目に②～④を競技する)

(3) 砲丸投の重さは、男子5.0kg、女子2.721kgを使用する。

(男子四種の砲丸は4.0kg)

(4) リレー種目の全国大会出場権は、県中総体1位チームか通信大会1位チームのうちの記録(上記二つの大会の予選・準決勝・決勝の中から)の上位チームとする。

但し、同タイムの場合は通信陸上、県中総体のセカンドタイムの良い方が出場権を得る。

※ 以下、下記に示すもの以外は、要項に準ずるものとする。

7 競技規定

(1) 2018(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項によって行う。ただし、2018(公財)日本陸上競技連盟競技規則第162条5を適用しない。警告対象として2枚のイエローカードの提示を受けた競技者について、当該種目のみを失格とする。

(2) トラック競技は、写真判定とする。

(3) 風力計測については、デジタル風速計を使用する。

8 参加資格

(1) 宮城県中学校体育連盟に加盟する中学校の生徒で校長が参加を認めた者。

(2) 全国中学校体育大会に参加を認める「参加資格の特例」

①学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、宮城県中学校体育連盟の予選大会に参加を認められた生徒であること。

②参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。

ア.全国大会の参加を認める条件

- ・(財)日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- ・生徒の学齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されている

こと。

- ・参加を希望する学校にあつては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員のもとに適切に行われていること。

イ. 全国大会に参加した場合守るべき条件

- ・全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
- ・全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長、又は教員が生徒を引率すること。
また、万一の事故発生に備え、傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたておくこと。
- ・大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

9 参加制限

- (1) 参加標準記録をこえた者の内、各校1種目1名、1人1種目とする。ただし、リレーは除く。
13. に記載の表を参照
- (2) 学年別種目は、該当学年の生徒に限る。
学年別種目のあるものについては、共通種目への参加はできない。
他国籍等の選手の学年種目参加については、他の選手が不利にならないように配慮する。
(年齢が違う場合は共通種目に参加すること。)
- (3) 宮城陸上競技協会への登録について
通信陸上へ参加する場合は、宮城陸上競技協会への登録が必要です。
注：(宮城陸上競技協会主催の大会出場には登録が必要です。各郡市中体連陸上大会・県中総体のみ出場の場合は登録する必要はありません。)
登録料 一人500円
登録方法 各学校ごとにWEBによる登録(日本陸連のweb会員管理システム「JAAF-Start」使用)を行い、名簿と登録料を提出する。

10 競技方法

- (1) 午前9時30分競技開始とする。
- (2) 四種競技・リレー以外のトラック種目の予選は全てタイムレースとし、決勝を行う。
- (3) フィールド競技の計測ライン及び競技開始の高さ、バーの上げ方は県総体と同じとする。
- (4) 競技人数によっては、競技方法の変更も有り得るので注意すること。
(予選なし一発決勝も有り得る。)
- (5) 各レースで不正スタートは、混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技は、不正スタートを2回目以降に行った競技者が失格となる。スタートの合図については英語で行う。

11 申込方法

- (1) 申込は全て「事前のデータ送信」と「様式Aシートの提出」であり、基本的に各学校毎に参加申込データを送信する。
出場校は、宮城県中体連陸上競技専門部のホームページから申込様式をダウンロードし、記入例に従い参加選手の登録を行う。入力が完了したならば、ファイル名を各学校の略式名で保存し、添付ファイルとして電子メールで送信する。
電子メール送信先は「各郡市の委員長」ただし、仙台市は、県申込み担当(袋原中 鈴木)へ。
 - ・申込データ送信期限 →平成30年6月14日(木) 17:00期日厳守 ←各郡市委員長へ
 - ・出場校は「様式A」シート(申込一覧表)に、職印・監督印を押印し、6月15日(金)までに、各郡市委員長に提出すること。
 - ・「様式A」シートが、プログラム編成会議に未提出の学校は大会参加を認めない。

※各郡市委員長は、平成30年6月15日(金)までに、各校からの申込みデータを県申込み担当(袋原中 鈴木)へ送信。各校から提出された「様式A」を、プログラム編成会議で提出すること。

- (2) プログラム編成会議は6月19日(火) 14時～弘進ゴムアスリートパークで行います。
なお、各郡市専門委員長または責任者が、必ず出席すること。
- (3) 補欠登録はありません。
- (4) 参加料について
個人種目は一人500円、リレーは400円とし、受付にて大会当日納入のこと。
- (5) ナンバーカードは各学校割り当て(男女各40名分)に応じて準備する。
年間を通じて一人の選手が同じ番号を各種大会で使用。

12 表彰

各種目の優勝者にはバッジを、8位(リレーは3位)まで賞状を授与する。
ただし、女子1年1500mは宮城県独自種目のため入賞者に賞状のみ授与する。

30年度通信大会参加標準記録

※厳守

<通信陸上宮城県大会・参加標準記録>

男子（16種目）			女子（13種目）		
種目	A標準記録	B標準記録	種目	A標準記録	B標準記録
1年100m	12"50	13"50	1年100m	13"60	14"60
1年1500m	4'45"00	5'03"00	1年1500m	5'10"00	5'36"00
2年100m	11"80	12"70	2年100m	13"00	14"00
3年100m	11"60	12"40	3年100m	12"90	14"00
200m	23"60	25"50	200m	26"80	28"90
400m	53"10	57"70			
800m	2'04"00	2'17"00	800m	2'21"00	2'38"00
1500m	4'15"00	4'43"00	1500m	4'46"00	5'16"00
3000m	9'15"00	9'59"50			
110mH	15"70	18"70	100mH	15"50	19"00
走高跳	1m80	1m60	走高跳	1m52	1m35
棒高跳	3m70	2m50			
走幅跳	6m30	5m50	走幅跳	5m10	4m30
砲丸投	12m50	8m70	砲丸投	12m00	9m20
四種競技	2400点	1700点	四種競技	2400点	1700点
400mR		各校1チーム	400mR		各校1チーム

参加制限

- (1) B標準記録をこえた者で、各校1種目1名、1人1種目とする。ただし、リレーは除く。
また、全国標準記録に達する可能性のある選手はこの限りではない。
- (2) 共通種目（3年100m含む）のA標準記録をこえた者は、全国標準記録に達する可能性のある選手と判断する。したがって、A標準記録をこえた者がいる場合は、さらに、B標準記録をこえた者を追加して申し込みをできる。また、A標準記録をこえた者は2種目申し込みをできる。
- (3) 学年別種目は該当学年の者に限る。A標準記録をこえた者がいる場合は、さらにB標準記録をこえた者を追加して申し込みをできる。
学年別種目のあるものについては、共通種目への参加はできない。
他国籍等の選手の学年種目参加については、他の選手が不利にならないように配慮する。
(年齢が違う場合は共通種目に参加すること)
- (4) 通信陸上大会参加制限の特例について
2種目出場、1種目複数出場について
- ①：2種目出場
A標準記録を突破した選手は、2種目出場を認める。
この場合、同一校でB標準記録を突破している選手1名の出場を認める。
- 例) 男子3年100mでA標準を突破している選手が、男子200mに出場する。
男子200mでは、A標準記録を突破していない。(公認記録がない場合も同様)
この場合、男子3年100mでB標準記録突破者がいれば+1名出場
男子200mでB標準突破者がいれば+1名出場
- ②：1種目複数出場
A標準記録を1名以上突破している種目については、B標準記録突破者がいれば+1名の出場を認める。
例) 男子3年100m、同一校で2名A標準記録を突破している。
同一校でB標準記録突破者がいれば+1名出場
- ③：A標準記録突破者の特例
A標準記録を突破していないが特別な事情がある場合。
- 例) A標準記録は突破しているが、追い風参考で公認となっていない。
上記のような特別な事情がある場合は、校長名の推薦書の提出によって、審議対象となる。
審議は通信大会抽選会で行い、直ちに結果を顧問に連絡する。
審議の結果、A標準記録突破者に準じると判断された場合は、上記①、②の出場を認める。

《第45回全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録》

男子（13種目）		女子（10種目）	
種目	標準記録	種目	標準記録
100m	11"20	100m	12"53
200m	22"75	200m	<u>25"80</u>
400m	51"60	800m	2'16"50
800m	2'00"50	1500m	4'38"00
1500m	4'08"50	100mH	14"80
3000m	8'57"00	走高跳	1m60
110mH	15"00	棒高跳	4m00
走高跳	1m85	走幅跳	6m55
棒高跳	4m00	砲丸投	13m00 (5kg)
走幅跳	6m55	四種競技	2500点 (4kg)
砲丸投	13m00 (5kg)		
四種競技	2500点 (4kg)		
4×100m R	各都道府県1チーム (学校単独チーム)	4×100m R	各都道府県1チーム (学校単独チーム)

※100m, 110mH, 100mHに関しては、参加人数が多数の場合、1次予選を行う。

1.4 その他

- (1) あらかじめ健康診断を受け、異常を認めない者。
- (2) 健康診断は各学校行い、学校長の許可を得て申し込むこと。
- (3) 競技中に発生した負傷・疾病については、応急処置等の措置は主催者において行い、必要に応じて救急病院等と連絡をとる。また、参加者は健康保険証を持参することが望ましい。
- (4) 個人情報の取り扱い（利用目的）
個人情報保護に関する法令を遵守し、取得した個人情報、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表し、大会結果集約に利用します。また、成績上位者については報道発表並びにホームページに掲載します。記載、掲載に関して各学校で同意を確認し、同意が得られない等、事情がある場合は県中体連事務局（022-725-4207）へ連絡すること。特に申し出がない場合は、この申込により掲載を承諾したものとします。
- (5) この大会の3年生参加種目については国体予選会を兼ねる。
- (6) 引率者及び監督は「県中総体要項」に則り、当該校の校長・教員とする。